特集

# あなたの近くに。消防士の日々

今回の特集では消防士の声、消防や救急のQ&A、そしてあまり知られていない消防署の１日の流れをお届けします。もっと身近に、もっと頼れる存在へ――。彼らの日常をのぞいてみてください。

問　消防総務課（☎54-3119）

## 地域の皆さんが困った時の頼れる存在になりたい

**救急救命士**

平成26年入庁

北消防署　消防士長

土田　浩貴



土岐市消防本部で職場体験をして、困っている人の一番近くで力になれる仕事がしたいと思いました。

### 就職後にスキルアップ！

土岐市の消防士は消防も救急も対応する「なんでも屋」です。火事の現場にも行くし、救急車にも乗ります。私は、救急出動する時に「確かな知識を持って対応したい」との思いから自ら手を挙げ、約８カ月間救急救命士養成所に通い、救急救命士の国家資格を取得しました。土岐市消防では現場での実務経験を経て、救急救命士の資格を取得することもできます。

### 「ありがとう」の言葉にやりがいを感じます

救急や救助現場では、限られた時間の中で判断し、行動する必要があります。そのため、私たちは日々訓練や勉強に取り組んでいます。その訓練で身につけた知識や技術が現場で生かせた時は、消防士（救急救命士）になって良かったなと思います。ご家族からの「ありがとう」「助かった」などの声もうれしいですね。

消防士は身近なところにいます。火事や急な病気、けがなどで困った時は私たちが駆け付けます。

## 人の役に立つ、人を助ける仕事をしたい

**救助隊員**

令和２年入庁

北消防署　消防士長

坂上　晴香



交通事故現場で救急車を呼んだ体験から、人を助ける救助隊という仕事があることを知りました。

### 丁寧な声かけで心に寄り添いたい

現場ごとに状況が違うので、どんな時も焦らず冷静に行動しなければいけない点に大変さを感じます。救助される方が一番不安なので、不安な表情や焦りを見せないようにしています。

急に触れられたり、体を動かされたりするのは怖いと思います。救助する時には「これから○○しますよ」「大丈夫ですよ」など、今何をしているかを丁寧に伝え、安心してもらえるよう心がけています。

### フレンドリーな職場です

消防には上下関係が厳しいイメージがありますが、土岐市消防には先輩と話ができる雰囲気があります。「やりたい」という気持ちがあれば、何でもやらせてくれる。「ダメ」「そんなことできない」はないです。

私は土岐市初の女性消防職員ですが、先輩の配慮もあって孤立することなく自然に職場に溶け込めました。

現在女性職員は３人。女性だからこそできる役割もあります。後輩が後に続いてくれるといいですね。

## 消防・救急の「？」にお答えします！

**Q 119番通報する時に気を付けることは？**

まず、火事か救急かを教えてください。場所や通報者の氏名、電話番号など必要な情報を聞きますので、落ち着いて答えてください。

**Q 通報したら何分で来てくれるの？**

場所によって違いますが、消防車は平均９分、救急車は平均９分45秒で現場に着きます。



**少しでも早く出動するための工夫**

素早く出動するために、靴とズボンがセットしてあります。

**Q 救急車が来るまでに何を準備すればいいの？**

マイナンバーカードや普段飲んでいる薬（お薬手帳）、お金、靴などを準備してください。



勤務スタート



**8:30 大交代**

前日に勤務した人と、これから勤務する人で、連絡事項を確認して交代します。



**7:00 起床・清掃**

庁舎や消防車、救急車を掃除して、次に勤務する人への引き継ぎの準備をします。



**9:00 機器点検**

消防車や救急車、積載されている資機材に異常がないかを確認します。



**9:30 体操・訓練 日常業務**

どんな災害にも対応できるよう、消火訓練や救助訓練などを行います。

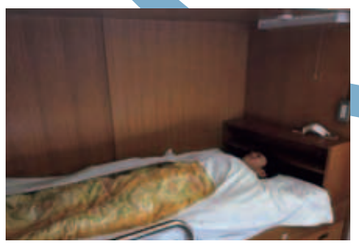


防火対象物や危険物施設の立入検査、応急手当講習会や事務仕事などを行います。



**17:30 体力練成・勉強会・報告書作成など**

体力や筋力をつけるためのトレーニングや、勉強会、報告書の作成を行います。



**22:00～ 仮眠（交代制）**

夕食や入浴後に、交代で仮眠を取ります。出動指令があれば、仮眠している人もすぐに出動します。

24時間勤務で
まちの安全を守る

## 消防署の１日

消防署では、24時間出動に備えて、「交代勤務」をしています。火災や救急がない時、消防士は１日をどのようにすごしているのでしょうか？写真とともに紹介します。

**Q 年間の出動回数は？**

令和７年の実績は、火災が19件、救急が3103件、救助が48件です。救急は増加傾向にあります。軽い症状での利用は控え、緊急性の高い人に救急車を譲るよう協力をお願いします。

**Q 救急車を呼ぶか迷ったら、どこに相談すればいいの？**

「救急安心センターぎふ」に電話してください。専門スタッフに24時間365日いつでも無料で相談できます。

・携帯電話・プッシュ回線から
　#7119
・IP電話・ダイヤル回線から
　058-216-0119
　「子ども医療電話相談」
　#8000

※意識がない、激しい痛みがあるなど緊急性がある時は、迷わず119番に電話をしてください。

**Q 患者を救急車に乗せてもすぐに出発しないのはどうして？**

患者さんを適切な病院に搬送するために、車内で応急処置や、症状の聞き取りなどをしています。ご理解・ご協力をお願いします。

**Q 運転中に消防車や救急車のサイレンの音が聞こえたらどうすればいいの？**

道路の左側に寄って、一時停止してください。交差点付近でサイレンが聞こえたら、交差点を避けて停車してください。